

## 山形県教育委員協議会の概要

### 1 日 時

令和7年10月15日（水）14時22分～14時53分

### 2 場 所

山形県庁舎教育委員室

### 3 意見交換テーマ

県立高校の魅力発信について

### 4 主な発言要旨

- ◇ 昨年度開設した山形県立高等学校ポータルサイトにより、県立高校の魅力発信が効果的になされていると思うが、さらにアクセス数を増やしていく取組みが重要と考える。その手法として、ポータルサイトの中にカレンダー機能を設けてオープンスクールの日程を確認しやすくすることや、在学中に取得できる資格一覧や進学先一覧を掲載するなどの取組みが効果的と考える。また、児童・生徒が何回も見る仕掛けや目に多く触れる誘導などの工夫も必要ではないかと感じる。  
(和田委員)
- ◇ 県外からの留学生が県内の高校に進学を希望する場合、住環境が整っていなければ、親としては通わせることをためらうこともあると思われる。山形県立高等学校ポータルサイトに、進学等の情報だけでなく、住環境の情報も掲載することで、子どもの進学に向けて親も安心してサポートすることができるのでないか。  
(丹治委員)
- ◇ 地域に根差し、地域に開かれた高校であることは非常に重要と考える。地域住民が自分事として地域の高校をPRする場があつても良いのではないか。先日訪問した小国高校では、町ぐるみで高校と関わりあい、地域と高校との信頼関係が構築されていると見受けられ、県立高校の魅力発信に効果的な取組みと感じた。  
(丹治委員)
- ◇ 普通科だけでなく様々な学科が設けられている県立高校は多様な人材が集まる環境にあり、その環境で学ぶことにより人格形成に良い影響を与えるものと思われ、それが県立高校の魅力と捉えることもできるのではないか。このような魅力を、高校へ進学を希望する子ども達はもとより、周りの大人達（教職員や保護者）に発信することも大切なのではないか。  
(手塚委員)
- ◇ 学校の教室やトイレがきれいであるなど、施設面の充実も子ども達の高校選択に影響を与えているものと思われるため、予算の範囲内で施設や設備を充実させていくことも魅力発信の一つの方法と考える。  
(手塚委員)

- ◇ 県立置賜農業高校ではSNSを活用して草刈機の使い方の説明など、産業系高校ならではの情報を発信している。このような形で、産業系高校においては、その高校で学ぶことで習得できる技術等を発信していくことも魅力発信に効果的と考える。(小関委員)
- ◇ 普通高校の魅力発信においては、普通高校の卒業生の中で県外や国外等、様々なところで活躍している方を紹介することが、子ども達にとって将来このように活躍できるというイメージが沸き、その高校に進学する動機付けになるのではないか。(小関委員)
- ◇ 情報発信において最も重要なことは、旬の情報を数多く発信することと考えられるため、山形県立高等学校ポータルサイトにおいては、新着情報をいかに更新していくかが重要と考える。また、ポータルサイトは県立高校の魅力発信の入口であり、その先の各学校のホームページへ誘導していくことも重要と考える。(工藤委員)
- ◇ 先日参加した最上地域の高校紹介フェスティバルにおいて、各高校から説明資料が配布されたが、カラーの資料もあれば、白黒のみの資料もあり、その内容に差が見られた。説明資料は相手に読みたいと思ってもらえなければ、どれほど有益な情報が記載されていたとしても読んでもらえないため、相手の目を引く、読んでみようと思ってもらえる説明資料となるよう、デザイン等を工夫していくことが重要と考える。また、せっかく開設した山形県立高等学校ポータルサイトへの誘導がなかったため、残念に感じた。(工藤委員)